

令和6年度 塩竈学問所講座
シンポジウム
塩竈の歴史の宝・再発見！
—文化財を活用した地域起こしのために—

講 師

平川 新 氏（東北大学名誉教授）

斎藤善之 氏（東北学院大学教授）

高橋守克 氏（塩竈市文化財保護審議会長）

小林敬一 氏（東北芸術工科大学教授）

中村琢巳 氏（東北工業大学准教授）

プログラム

開 会

挨 拶 塩竈市教育委員会 教育長 黒田 賢一

調査報告（塩竈市文化財保存活用地域計画調査部会）

高橋守克 氏 「宮城の縄文貝塚」

斎藤善之 氏 「絵画資料にみる塩竈の歴史」

中村琢巳 氏 「塩竈の町屋と浦戸諸島の神社を中心に」

小林敬一 氏 「浦戸・松島の特性と活用に向けた課題」

休 憩（10分）

パネルディスカッション

コーディネーター 平川 新 氏（塩竈市文化財保存活用地域計画協議会会長）

閉 会

と き 令和6年11月2日（土）13:30～16:20

ところ 塩竈市民交流センター 遊ホール（壱番館5階）

主 催 塩竈市教育委員会 教育部 生涯学習課

この資料は市のホームページからもダウンロードできます→



講師プロフィール

平川 新（ひらかわ あらた）

東北大学名誉教授。専門は江戸時代史。1950（昭和 25）年福岡県生まれ。東北大学大学院修士課程修了。東北大学東北アジア研究センター長、同災害科学国際研究所所長、宮城学院女子大学学長などを経て、現在宮城県慶長使節船ミュージアム（サン・ファン館）館長。主な著書は、『開国への道』（小学館）、『戦国日本と大航海時代』（中公新書）、『世論政治としての江戸時代』（東京大学出版会）など。

斎藤 善之（さいとう よしゆき）

東北学院大学経営学部教授。専門は江戸時代の流通経済史。1958（昭和 33）年栃木県生まれ。早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。文学博士。宮城歴史資料保全ネットワーク理事長。主要著書は『相馬市史』（2015 年）、『近世南三陸の海村と海商』（清文堂・2010 年）、『海の道 川の道』（山川出版社・2003 年）など。

高橋 守克（たかはし もりかつ）

塩竈市文化財保護審議会長、宮城県考古学会普及委員長、塩竈神社神職養成所講師。主な著書と論文は、「伊達政宗の墓とその遺品」（共著）、「宮城県史 34（考古資料編）」（共著）、「遺跡が語る！宮城県の災害の歴史」（吉川弘文館）、「東日本大震災津波と貞観津波における浸水域に関する調査」（共著）、「塩竈市御釜神社境内出土の塀瓦―その使用年代と出自を中心として―」など。

小林 敬一（こばやし けいいち）

東北芸術工科大学教授。工学博士。専門は都市デザイン。景観論や歴史的環境の計画、特に史跡等の保存活用計画に関わる機会が多かった。主な著書は、『詩に詠まれた景観と保全―福島県高子二十境の場合』（西田書店）2013、『都市計画変革論―ポスト都市化時代の始まり』（鹿島出版会）2017、『時間の中のまちづくり―歴史的な環境の意味を問いなおす』（共著・鹿島出版会）2019、など。

中村 琢巳（なかむら たくみ）

東北工業大学建築学部准教授。専門は日本建築史。1977（昭和 52）年東京都生まれ。東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修了。単著に『生きつづける民家―保存と再生の建築史』（吉川弘文館）、『近世民家普請と資源保全』（中央公論美術出版）、共著に『付属屋と小屋の建築誌―もうひとつの民家の系譜』（鹿島出版会）、『図説 日本インテリアの歴史』（河出書房新社）、『入門 日本の名建築』（洋泉社）など。

「宮城の縄文貝塚」

塩竈市文化財保護審議会長 高橋 守克

1. 貝塚とは何か

- 古代人が捕食した貝類の殻を遺棄したものが堆積して層をなしている遺跡である。
- 縄文時代早期から晩期までみられる。⇒ 小規模ながら平安時代まで認められる
- 貝塚は貝の捕食に便利な水辺につくられる。⇒ 当時の海岸線などが復元できる
- 貝、魚骨、獣骨などの自然遺物と共に、土器・石器・骨角器などの人工的遺物、埋葬人骨や住居跡などが発見される。⇒ ゴミ捨て場・物の送り場、遺物の変遷、自然環境や生業の復元

2. 土器の出現と縄文時代

1) 地球の温暖化

- ・約1万6千年前から急激な温暖化（氷河後退期）⇒ 海水準の上昇、降水量の増加
- ※ 縄文海進 ⇒ 気候、植物相、動物相などの変化

2) 最古の土器の出現

- ・土器の出現と竪穴住居の出現 ⇒ 定住への移行（ムラの形成）

3) 縄文文化

【時 期】○約16000年前～約2800年前

- ① 豊かな自然環境 — 温帯性落葉広葉樹林、沿岸部への進出

植物 … クリ・トチなど（木の実）、山菜 動物 … シカ・イノシシなど（中形・小形）

海産物 … 魚、貝など

- ② 様々な道具の出現（土器・弓矢・磨製石斧・骨角器など）… 早期末～前期初頭

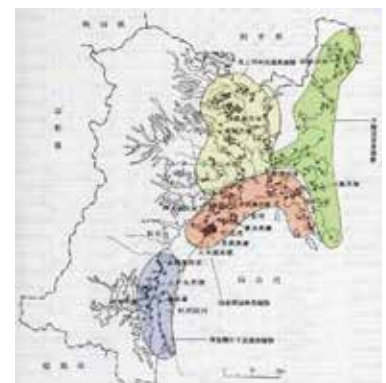
⇒ 狩猟・採集・漁労の変革に関係（資源利用の拡大）クリ植林 ⇒ 定住生活（貝塚の形成）



3. 宮城県貝塚の概要

1) 貝塚の分布 — 宮城県 211カ所（縄文）：全国3位

- ① 北上川中流域貝塚群（迫水系）
北上川とその支流の遊水地帯（49カ所）
- ② 三陸沿岸貝塚群（南三陸）
リアス式海岸の海岸段丘上や離島（40カ所）
- ③ 仙台湾沿岸貝塚群（松島湾岸）
松島湾とその外縁（88カ所）
- ④ 阿武隈川下流域貝塚群
角田盆地などの内陸部、河口付近（24カ所）



2) 仙台湾沿岸貝塚群の概況

- ・大陸棚の発達し、黒潮・沿岸流・親潮が交錯 ⇒ 生物の種類や量が豊富、大貝塚が多い
- ・早期～晩期初頭 … アサリ、カキが主体
- ・晩期後葉 … ヤマトシジミ ⇒ 浜堤後背湿地の出現
- ・中期以降に骨角性漁具の著しい発達

4. 縄文人の主な食料

1) 縄文人の主食 … 木の実を中心としたでんぷん質の食糧（ドングリ・クルミ・クリ・トチ）

- その他の植物食料 … 春（ワラビなど）、秋（ヤマイモ、キノコなど）、湖沼（ヒシの実など）

2) 哺乳類

【田柄貝塚】気仙沼市 … 後・晩期の遺跡（漁労を中心としたムラ）

○狩猟も盛ん（哺乳類の遺存体）－ 21 種類

イノシシ、シカ、ツキノワグマ、タヌキ、キツネ、カワウソ、オットセイ、クジラ、イルカ etc.

○イノシシ、シカ … 2歳未満の幼獣・若獣が多い ⇒ 秋から春で、冬が中心（弓矢、落とし穴）

○イヌ … 埋葬犬骨（22体）… 猟犬

3) 主な鳥類

○ガン・カモ類が中心 … ウ、キジ（キジ：低木林・草地の拡大）

4) 主な貝類

①淡水性貝塚 … ヌマガイ、オオタニシ、イシガイが主体

・鹹水産の貝も（サザエ、アサリ、ハマグリなど）⇒ 相互依存（石材、貝製品）

②鹹水性貝塚 … アサリ、ハマグリ、オキシジミが主体

5) 主な魚類【青島貝塚（登米市）、田柄貝塚】

①淡水性貝塚 … フナ、ニゴイ、ギバチ、ウナギなど … 釣り、網漁、筒漁

・鹹水産の魚も（マイワシ、スズキ、サバなど）… 相互依存（石材）

②鹹水性貝塚 … イワシ、サバ、スズキ、アイナメ、カレイ、マダイ、クロダイ、マグロ、カツオ、カジキ、ブリ、サメ、エイ、ウミガメ

【漁労活動】… 海を中心に活発に展開、淡水域でも実施

○漁具 … 釣針（中形・小形魚）、離頭鉈、ヤス、網針・土錘（網漁）

5. 生業以外の道具類

【土器】・当初（煮炊きに用いる深鉢や鉢を基本）⇒ 後期以降 … 多様な機種が出揃う

【石器】・スクレーパー（ナイフ）、石匙（携帯用ナイフ）、石錐、磨製石斧、砥石

【骨角器】・縫い針、へら、 【貝製品】・貝刃（スクレーパー）

【木製品】・鉢、片口付き鉢、皿、 【漆器】・木器に漆を塗ったもの

○漆 … 集落の周辺で漆が栽培され、漆の採取・加工・貯蔵・製品製作が行われた

【繊維製品】・布、ザル、カゴ、

【装身具】・石製ペンダント、玉類、耳飾り、貝輪、櫛（漆塗り、骨製）、骨角製ヘアピン

6. 埋葬と祭祀

1) 埋葬（イヌ、イノシシの埋葬も）

・墓域があり、貝層と重複 … 成人（土壙墓・屈葬・抜歯）、新生児・幼児（鉢形土器）

2) 祭祀と祈り

・自然崇拝 … 山、海、大木、岩、滝（川）

・繁栄と性崇拝（再生） … 土偶（女性が多い）、石棒（男性器）

・豊饒への祈り … 動物型土製品（イノシシ、クマ）、線刻画（狩猟、魚）

※ シャーマンの存在 … 土器に人物像、仮面（土製、貝製）、仮面をかぶった土偶

7. 地域間のつながり

1) 石材と貝・貝製品 … 中距離（県内）

①内陸部の集落（石器の石材）… 北上山地、奥羽脊梁山脈

②沿岸部の集落（貝類、貝輪）

2) アスファルト、ヒスイ、オオツタノハ貝 … 遠距離（県外）

①アスファルト（日本海沿岸）、②ヒスイ（糸魚川周辺）、③オオツタノハ貝（伊豆諸島以南）

※ 遺物に反映される地域間の接触 … 縄文後期以降、広範囲に及び、しかも緊密である

※ 直接の接触ではなく、仲介者を介した間接的な接触



報告「絵画資料にみる塩竈の歴史」

2024-101-2 塩竈游ホール

東北学院大学 斎藤善之

塩竈の歴史を表象する画像史料群（編年リスト）

- 1 「遊行上人縁起絵」（原図は1300年頃）文禄3年（1594）鹿野宗秀筆 山形市光明寺
- 2 「松島眺望集」天和2年（1682）大淀三千風 宮城県図書館
- 3 「系入 一目玉鉾」元禄2年（1689）井原西鶴 東北大学図書館（狩野文庫）
- 4 「奥州塩竈松島図屏風」（17世紀）作者不詳 東北歴史博物館
- 5 「陸奥国塩竈松島図」享保13年（1728）佐久間洞巖 九州大学附属図書館
- 6 「東奥紀行（鹽竈図）」宝暦10年（1760）長久保赤水 鹽竈神社博物館
- 7 「塩竈松島図屏風」（18世紀）作者不詳 福岡市美術館
- 8 「塩竈富山図巻（塩竈部分）」（18世紀）佐久間洞巖 鹽竈神社博物館
- 9 「奥州千賀浦松島図屏風」（18世紀）桜井雪館 茨城県立歴史館
- 10 「塩竈松島図（勝画楼眺望）」天明7年（1787）刊 谷文晁 鹽竈神社博物館
- 11 「鹽竈真景」（18世紀）谷文晁 鹽竈神社博物館
- 12 「陸奥紀行（千賀浦塩竈社）」寛政8年（1796）坂口眞正 東北大学図書館（狩野文庫）
- 13 「松島往来」文化4年（1807）仙台国分丁・池田屋源蔵 東北歴史博物館
- 14 「奥州塩竈松島之略図」文政中期（1760年～1849年）葛飾北斎 大田記念美術館
- 15 「奥州松島塩竈全図」（19世紀）斑目東雄 宮城県図書館
- 16 「塩竈松島図巻（塩竈部分）」文化7年（1810）小池曲江 東北歴史博物館
- 17 「塩竈松島図巻（塩竈部分）」（19世紀）小池曲江 仙台市博物館
- 18 「奥州富山大仰寺眺望之全図」文化8年（1811）菅井梅閑 仙台市博物館
- 19 「塩竈松島図屏風」19世紀 小池曲江 鹽竈神社博物館
- 20 「名所図会」文化13年（1816）作者不詳 鹽竈神社博物館
- 21 「画譜 莫逆閑友」（乾の部）「奥州一之宮鹽竈神社」・「千賀浦」天保8年（1837）小池曲江 鹽竈神社博物館

- 22「奥州仙台名所盡集」文政3年（1820）作者不詳 仙台市博物館
- 23「奥州名所図会（巻の三・宮城郡）」文政10年（1827）大場雄洩 宮城県図書館
- 24「奥遊詩画卷」（19世紀）作者不詳 広島県立歴史博物館
- 25「勝畫縷望月」天保年間（1830～44）菅井梅閑 仙台市博物館
- 26「奥州塩竈千賀の浦海塩製塩法図会」弘化4年（1847）北村穀實 東北歴史博物館
- 27「塩竈松島図」（19世紀）長谷川雪旦 仙台市博物館
- 28「松島図」（江戸後期）作者不詳 （財）斎藤報恩会
- 29「（鹽竈神社）／「徳川の軍艦長鯨丸 堀山にて（蝦夷戦争）・1868年11月26日）」／「（千賀の浦か）」明治元年（1868）ブリュネ 中央公論社
- 30「鹽竈神社古絵図」（明治初期）作者不詳 鹽竈神社博物館
- 31「鹽竈神社・塩竈浦図」明治11年（1878）遠藤信道刊 鹽竈神社博物館
- 32「神社鳥瞰図」明治11年（1878）五島廣高 個人蔵
- 33「宮城県地誌要略」明治12年（1879）若生精一郎 東北大学図書館
- 34「陸前國 國幣中社鹽竈神社神奉式之圖」明治15年（1882）作者不詳 NPOみなとしほがま
- 35「仙台名所図（全12景の内）鹽竈神社楼門／塩釜埠頭／多聞山／野田玉川」明治24年（1891）遠藤速雄 鹽竈神社博物館
- 36「国幣中社鹽竈神社明細全圖」明治24年（1891）蜂谷十馬 NPOみなとしほがま
- 37「陸前國塩竈松島真景全圖」明治24年（1891）蜂谷十馬 NPOみなとしほがま
- 38「陸前國塩竈松島真景全圖」明治27年（1894）蜂谷十馬 NPOみなとしほがま
- 39「松島真景図」明治28年（1895）笠原豊泉 瑞巖寺（松島町）
- 40「陸前國鹽竈神社境内圖 附松嶋附近名所」明治33年（1900）玉塚榮次郎 個人蔵
- 41「松島塩竈真景全図」大正9年（1920）蜂谷十馬 個人蔵
- 42「観光の塩竈と松島」昭和8年（1933）作者不詳 個人蔵
- 43「塩釜港．塩釜海岸にて．塩釜神社社務所より湾内を望む」昭和6年（1931）菊地整吾 個人蔵
- 44「鹽竈港と名所松島大圖繪」昭和10年（1935）旭峯 塩竈市民図書館
- 45「塩釜市鳥瞰圖」昭和27年（1952）吉田初三郎 塩竈市民図書館

建築班：塩竈の町家と浦戸諸島の神社を中心に

東北工業大学 建築学部 中村琢巳

1. 町家とは

- ・連続して町並みをつくる／通りに接道する／1階が店舗や作業場（併用住宅）
⇒集住の知恵をもち、都市景観の核となる。活用の自由度も高い歴史的建造物
- ・江戸時代の塩竈の絵図に描かれた町家
⇒鹽竈神社の門前として、長い歴史の中で洗練化していく

2. 塩竈の町家の特色

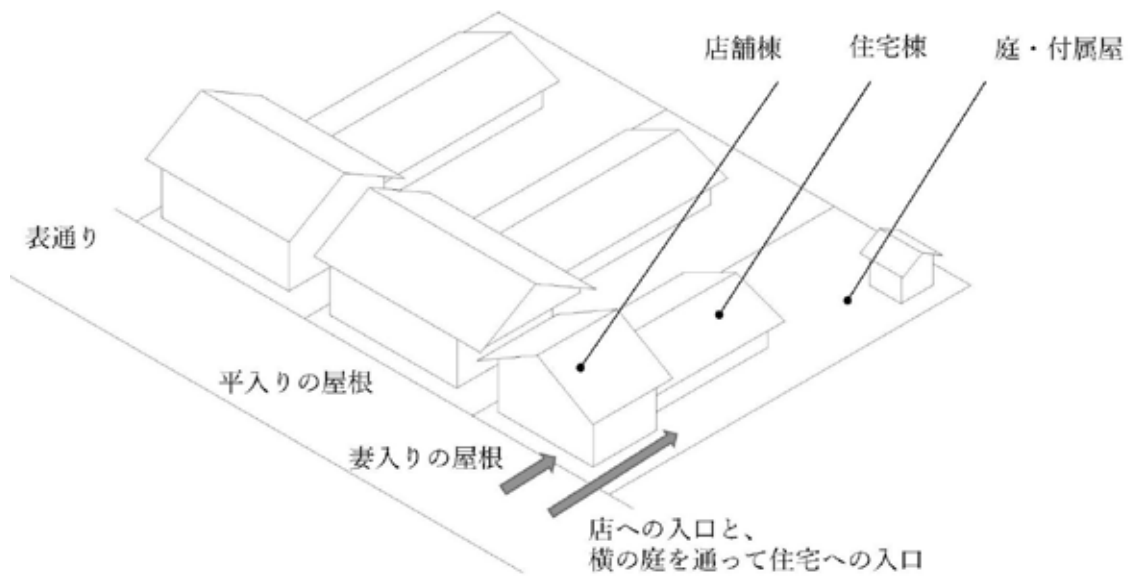
- ・仙台藩領の町家の基本構成
配置（店舗棟、住宅棟、付属屋と庭）、外観、間取り
⇒塩竈では、土蔵造りや表門が少ない
- ・【特色1】格子やせがみ造りなどの木肌を活かした外観
- ・【特色2】港町らしい高密度の集住
⇒幅の狭いの庭、3階建て、床の間をもつ座敷の2階化
- ・【特色3】居間に凝縮された室内意匠
⇒座敷より居間のインテリアに凝る（棚、仙台箆笥、建具、神棚、仏壇）
- ・【特色4】石蔵の付属屋

3. 浦戸諸島の町並みと神社

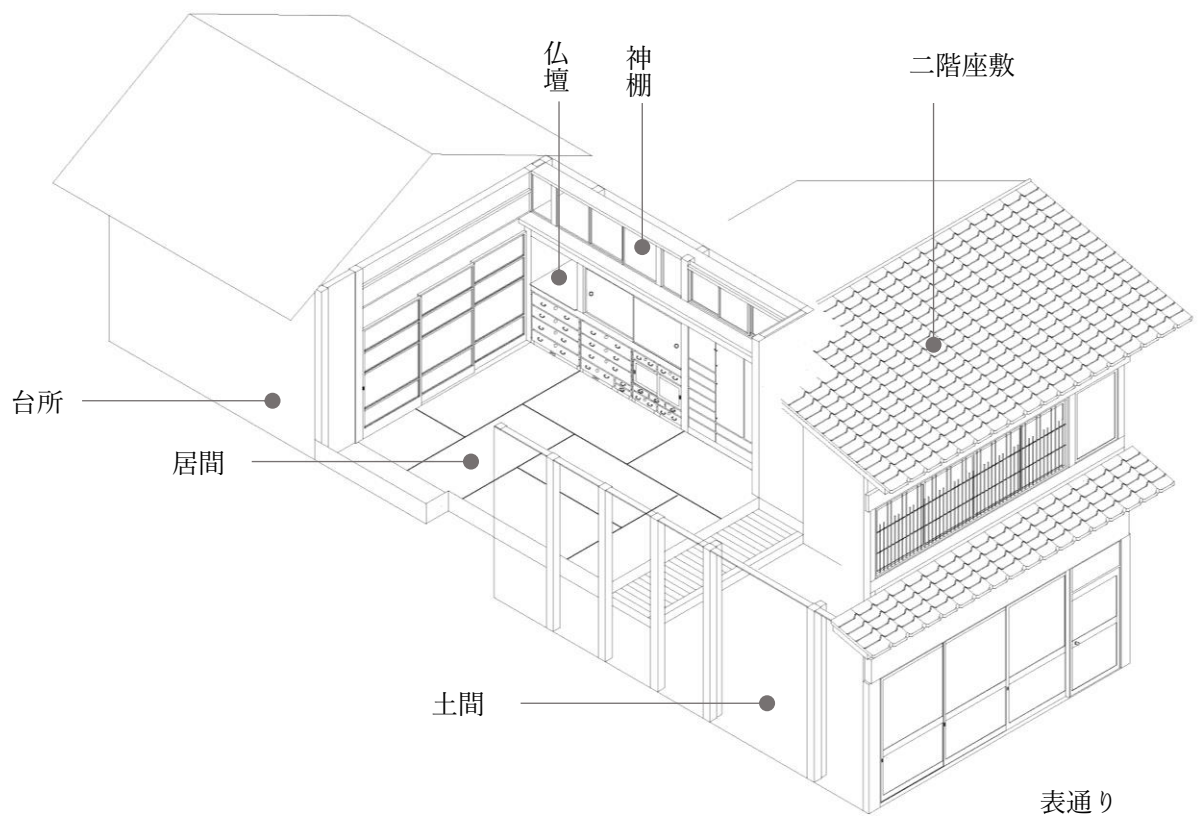
- ・広域的な希少さをもつ石浜の町並みや寒風沢の石蔵群
- ・高台に立地する神社には、歴史的建造物がよく残されている
- ・【特色1】装飾豊かな社殿
- ・【特色2】浦戸の生活や風土を物語る境内の付属建築
⇒社殿の覆屋、参道に位置する長床（社務所）、鐘楼
- ・【特色3】江戸時代を伝える石段や石灯籠・水盤、石碑（庚申塔、湯殿山…）

4. 建築は多彩なジャンルの文化財の融合

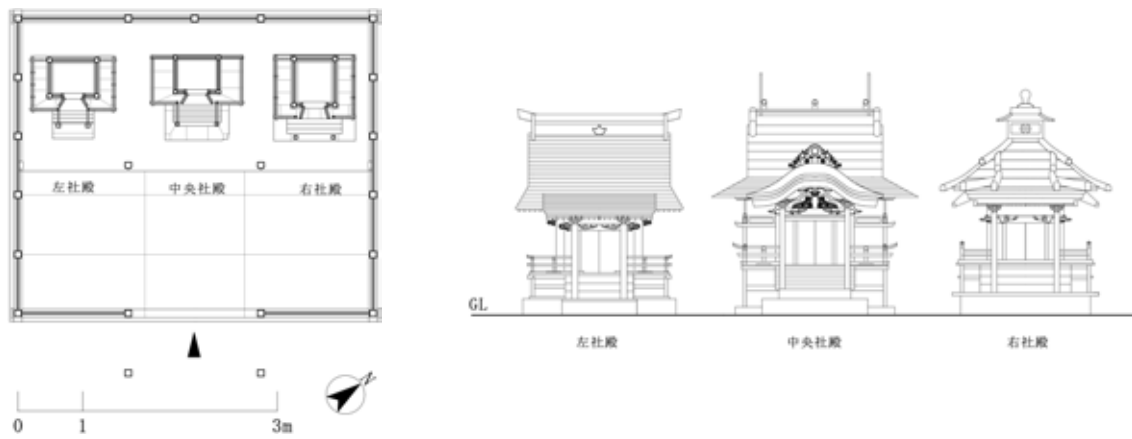
- ・町家 ⇒ 町家建築、家具（仙台箆笥）、歴史資料、老舗ゆかりの伝来品
- ・神社 ⇒ 風土、生活、宗教を伝える



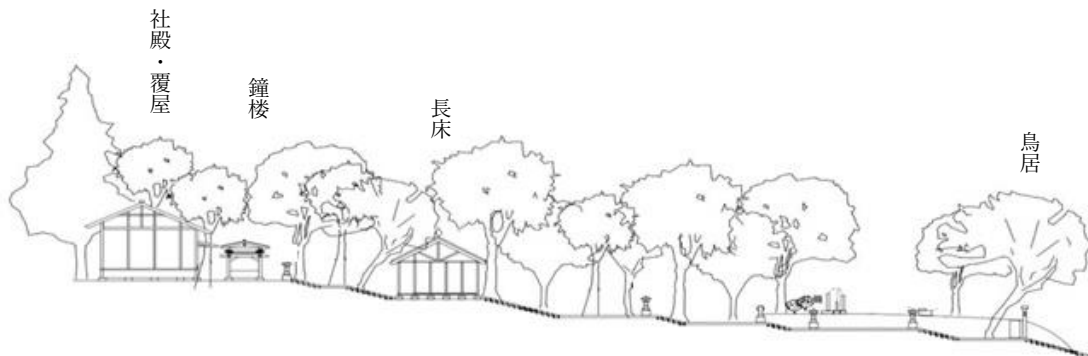
町家の基本的な構成（作図：東北工業大学 建築史研究室）



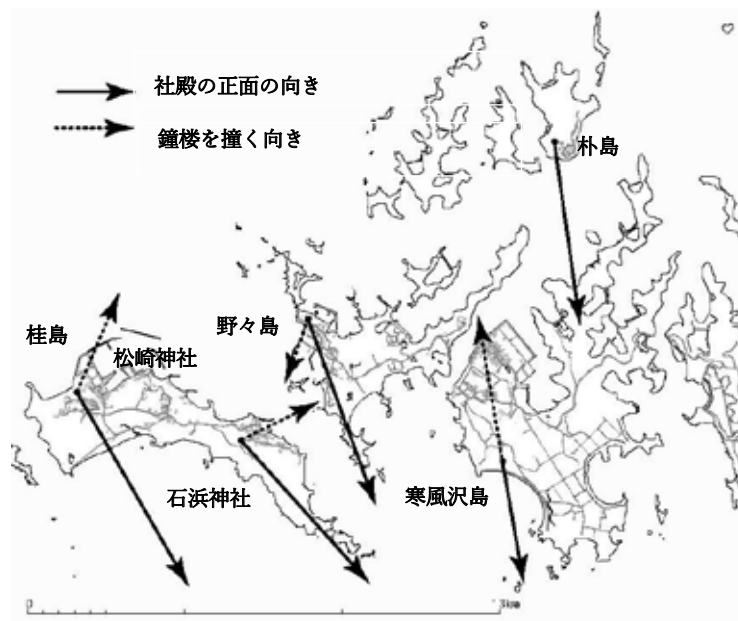
塩竈の町家を参考とした図解（作図：東北工業大学 建築史研究室）



石浜神社の社殿・覆屋の平面図と立面図（実測図：東北工業大学 建築史研究室）



松崎神社の鳥居から社殿までの連続断面図（実測図：東北工業大学 建築史研究室）



浦戸諸島四島の5神社とその社殿と鐘楼の向き

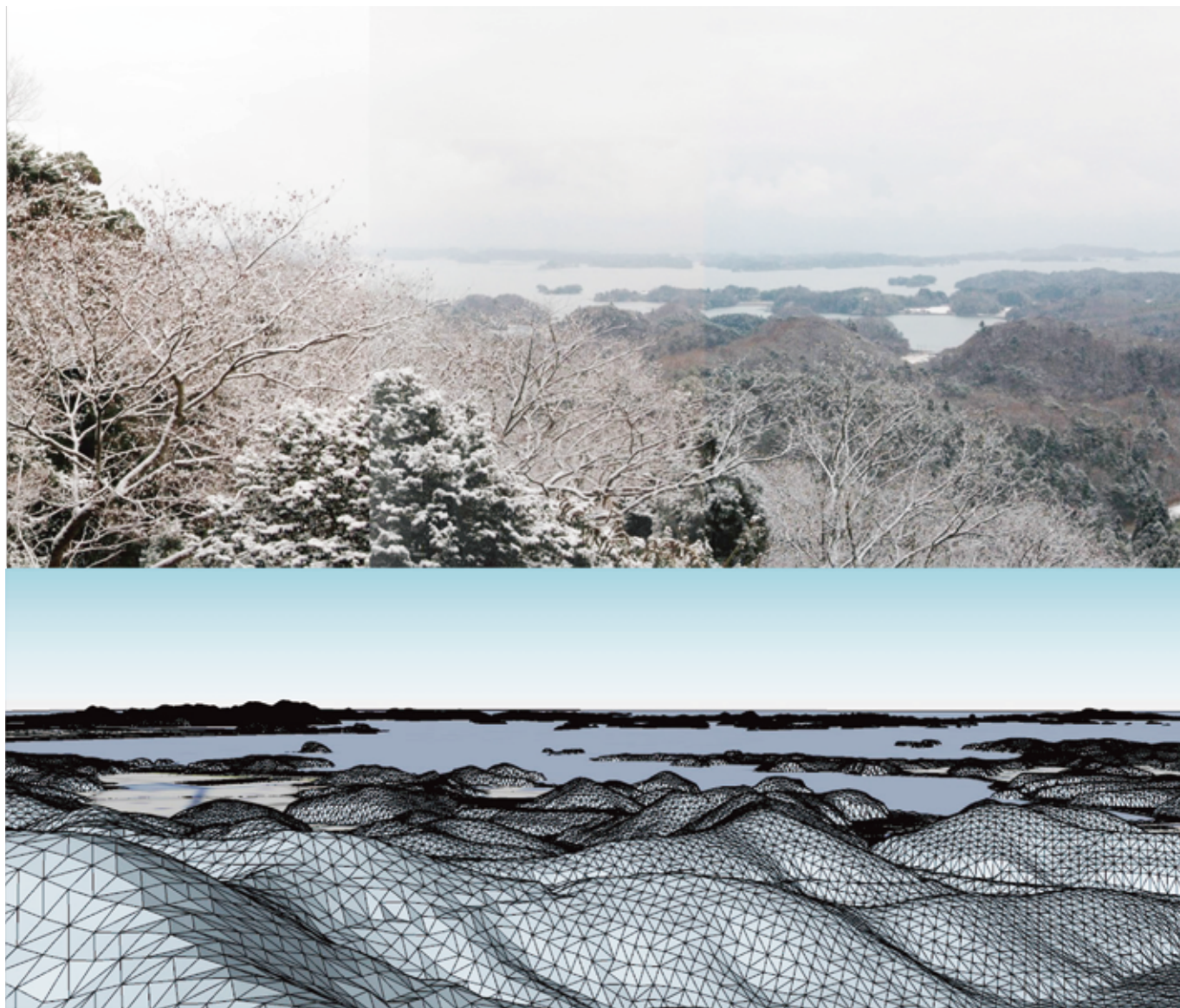
浦戸・松島の特性と活用に向けた課題

東北芸術工科大学・教授 小林敬一

はじめに

1. 前回補足：全松島モデルの作成による富山からの浦戸の見え方
2. 浦戸の現況ならびに近年の変化動向
ー環境集成図の作成／宮城県アンケート調査結果／現地の状況を見比べて
3. 松島の価値を生かす活用と地域活性化にむけた課題

ここに、浦戸の島々は写っていますか？



図：(上) 大仰寺・富山観音展望台より筆者撮影写真（2011.12.16）
(下) 全松島モデルによるシミュレーション画像（基盤地図情報 5m メッシュ
による）視点の高さと、カメラの画角に多少違いがある。SketchUp 使用。



歴史的関心に関するアンケート

私自身が遺跡整備に関わっていること、ならびに計画論・デザイン論という研究上の関心から、皆さんの歴史や遺跡に対する意識、そして今日テーマとした浦戸諸島との関わりについて伺いたいと思います。ご協力いただけると幸いです（小林敬一）。

●締切は11月17日までとします。

●アンケートのURLは：<http://bit.ly/4f3Gc98>

です。スマホの場合は、下のQRコードからアクセスして下さい：

